

# 内科ケースカンファレンス レポート

---

2月28日、本年度最後の内科ケースカンファが行われました。

内科ケースカンファは一つの症例を時間をかけて振り返り、掘り下げることで学びを共有するカンファレンスとして2ヶ月に1回各科持ち回りで行われています。

今回は腫瘍内科主催で、専攻医の瀧宮先生が癌患者さんの診断から抗がん剤治療、お看取りまでの経過を発表し、それぞれの段階で起こった臨床的な問題を参加者とディスカッションしました。

当院は外来通院センターや緩和ケア病棟を有するため、腫瘍内科のローテーターは本症例のように診断から緩和ケアまでを主治医として担当することができ、当院の研修を体現した発表となりました。

次回は4月に、リウマチ膠原病内科の担当で行われます。

